

平成 23 年度自動車リサイクル連携高度化等支援事業公募結果について(お知らせ)

平成 23 年 12 月 16 日

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

企画課リサイクル推進室

1. 「自動車リサイクル連携高度化等支援事業」の概要

自動車リサイクル制度は概ね順調に機能し、使用済自動車の処理については、高いリサイクル率を実現しているところです。その一方で、リユース部品の利用促進や自動車に使用されるレアメタルに着目したリサイクルの促進等、自動車リサイクルの高度化が必要との指摘がなされているところです。

そこで、環境省では、自動車リサイクルの高度化に資する実証的な取組のうち、自動車製造業者等、解体業者、破砕業者のいずれかの事業者を含む複数の事業者の連携による事業及び先進的な鉄リサイクル技術の開発等を支援することとし、平成 23 年 10 月 3 日(月)から平成 23 年 10 月 31 日(月)の間に対象事業の公募を行いました。

2. 選定結果

本事業の公募に対し12件の応募があり、事業の実現可能性、事業計画の具体性、妥当性及び連携の妥当性等の観点から、下記の自動車リサイクルの専門家からなる選定委員会により厳正なる審査を行った結果、「自動車リサイクル連携高度化支援事業」として4件、「先進的金属リサイクル技術開発等事業」として2件、計6件について以下のとおり選定しました。

申請者名	申請事業名
自動車リサイクル連携高度化支援事業(計4件)	
豊田通商株式会社	使用済自動車由来の小型モーター層からの銅資源回収
一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構	小規模解体業者の連携によるレアメタルリサイクル ～量から質へ回収スキームの高度化～
株式会社マテック	自動車バンパーマテリアルリサイクルのための選別技術実証試験

株式会社早稲田環境研究所	リユース部品の在庫「見える化」システムの構築とCO ₂ 削減効果情報提供プラットフォームを活用したインセンティブ付与に関する実証
先進的金属材料リサイクル技術開発等事業(計2件)	
大越工業株式会社	レアメタル等希少金属を含む複合金属材料の流動応力分離装置の研究開発とネオジムリニアドライブ高度分別回収装置の開発
国立大学法人 東北大学	廃自動車スクラップ随伴合金元素の高度有効利用に向けたマテリアルフロー解析並びに元素分配傾向基礎調査

<平成 23 年度自動車リサイクル連携高度化等支援事業選定委員会>

永田勝也 早稲田大学 環境・エネルギー研究科 教授

中村 崇 東北大学 多元物質科学研究所サステナブル理工学研究センター 金属資源循環システム研究分野 教授

松藤敏彦 北海道大学大学院 工学研究院 教授

藤吉秀昭 財団法人日本環境衛生センター 常務理事

環境省

(注:選定委員が審査対象の応募事業に対し利害関係を有する場合は、当該事業に対する審査を棄権した。)

3. 問い合わせ先

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

担当:豊住、高林

TEL:03-5501-3153(直通) FAX:03-3593-8262